

パープルリボンは、女性に対する暴力撤廃運動の国際的シンボルマークです。



第1回パープルリボン・コンサート 開催のお知らせ

◆◆女性に対する暴力(DV・セクハラ・他)根絶を目指し、音楽で繋がろう!◆◆

11月25日は国連・女性に対する暴力撤廃デーです。その時期に合わせ、DV、セクハラ、性犯罪、他、女性に対する暴力をなくし、女性・男性の良好な関係を築くことを願おうと、音楽を持ち寄って奏でる《第1回パープルリボン・コンサート》を開催します。これは市民参加型のコンサートで、出演者の性別、プロ・アマも不問、いかなる曲が飛び出するか、当日のお楽しみです。出演者は、服のどこかに思い思いのパープルリボンを装着して演奏します。ご来場の方も、よろしければリボンをつけてお越しください。

【出演予定(50音順)】草柳和之/斎藤新一(声楽家)/水井真希(グラビアアイドル・映画監督)、他

【演奏曲目予定】

- ボブ・ディラン『風に吹かれて』ピアノ編曲版
- 野村誠【注1】作曲『DVがなくなる日のための
『インテルメツォ(間奏曲)』【注2】
- 草柳和之【注3】作詞・野村誠作曲『DV撲滅ソング
～DVカルタを歌にした』【注4】
- その他

【日時】2017年12月2日(土), 13:30～16:45.

【参加費】300円～(投げ銭感覚でどうぞ)

【会場】聖書キリスト教会:練馬区豊玉北1-12-3

*西武池袋線江古田駅8分/都営大江戸線新江古田駅5分

【主催・問合先】メンタルサービスセンター

☎176-8799 練馬郵便局留 ☎03-3993-6147

<http://www.5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/>

★出演者・実行委員を募集中です。

★活動内容問合せ、カウンセリング等は上記にご連絡下さい。

【注2】⇒曲の紹介

草柳和之は、幅広い活動の発展の中で、DV根絶を願う音楽の必要性を思い立ち、自らのピアノ演奏のために、2001年、野村誠氏に作曲を委嘱(作曲依頼)、初演されたのが、この曲。曲名は「DVがなくなる日までの間に演奏される曲」という意味で、「同曲が少しでも早く演奏されないことを願う」という逆説的な意図が込められている。

【注4】⇒曲の紹介

DV防止キャンペーン音楽の委嘱第2曲。DVをテーマにカルタとして編集した《DVカルタ》は、DV問題啓発ツールであり、全44枚の読み札、絵札、解説書から構成されています。その読み札を並べて歌詞として作曲されました。曲は明るく時に大胆、シュールだがおかしい、このミスマッチがディープな音楽体験へと誘います。



【注1】《作曲者紹介:野村誠》

日本センチュリー交響楽団・コミュニティプログラム・ディレクター。インドネシア国立芸術大学客員教授、東京芸大講師等を歴任。2003年第1回アサヒビル芸術賞他の受賞歴がある。共著『老人ホームに音楽がひびく』(晶文社)他多数。エディンバラ大学(英)、マヒドン大学(タイ)、 Folkwang University(独)、等でワークショップを行う。彼の曲は世界20カ国以上で演奏されている。

【注3】《プロデュース:草柳和之》

メンタルサービスセンター代表・カウンセラー、大東文化大学非常勤講師。DV被害者支援に携わると同時に、日本で初めてDV加害者更生プログラムの体系的実践に着手、その方法論の整備、専門家研修の提供等により、この分野をリードしてきた。日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員。著書に『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)、共著『標準音楽療法入門 下』(春秋社)他、多数。日本カウンセリング学会認定カウンセラー。長年のDV問題の先駆的・模範的組みが評価され、社会貢献支援財団より、平成27年度社会貢献者表彰を受賞した。